

最優秀作品

(ここに選ばれた人は写真と感想文 200 字以内を編集部まで送ってください。)

◇半紙四年生

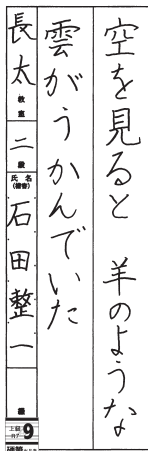


清雲教室 / 河内さくら

漢字の二文字が、とても上手に書けています。特に「色」の最終画のおさまりの良さは、みごとです。

(評・小棚 竹雪)

◇硬筆四年生



長太教室 / 石田 整一

「空」の三画めの筆運び、「羊」の三本の横画の変化を上手く表現できました。余白の生きた秀作です。

(評・金崎 秀子)

◇半紙五年生

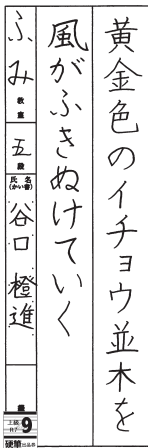


小平教室 / 前澤 風

一点一画が力強い線で丁寧な書けています。「文」「交」の払いのおさまりが際立ち、名前もすばらしいです。

(評・細井 翠櫻)

◇硬筆五年生



ふみ教室 / 谷口 橙進

余計な力が入らず、終始自然体で書かれ、漢字とかなの調和がとれた書きぶりはみごとです。

(評・鈴木 木徹)

◇半紙六年生

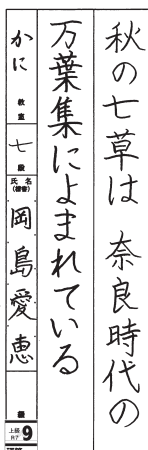


上毛教室 / 土井健太郎

張りのある線質で気脈が通り、表現力の豊かなすばらしい作品となりました。

(評・長谷川照峰)

◇硬筆六年生



かに教室 / 岡島 愛恵

余白の取り方、滑らかな線の動き、特にひらがなの字形、線質は群を抜いてすばらしくがやいていました。

(評・宮崎 直子)



十月提出競争作品の写真版作品は、十月二十三日より本会ホームページに掲載いたします。

◆ 条幅四年生 じょうふく



楓教室 / 美野輪千鶴

余よ分ぶんな力が抜け、のびやかに書けています。「上」の縦画や横画のそりがみごとです。

(評・眞武 明凜)

◆ 条幅五年生



佳心教室 / 久保 結花

「画数の多い「集」が上手に書けました。「中」と「力」
とも調和し、三文字のおさまりがみごとです。

(評・仲井 裕子)

◆ 条幅六年生



杏教室 / 大淵 佳子

中心が通り、基本の筆使いをよく学習されています。
特に「命」の縦画が作品を引き締めていて、秀逸です。

(評・染井 六花)

◆ 優秀作品

はん し 紙 4 年 生



今月の優秀作品

い 交文 流化 佐野結人	交文 流化 辻林穂乃花	寺崎 吉川汀 く色 山づ	紅葉 金子り く色 山づ	中南岡村果歩 く色 山づ	桑文 なひま く色 山づ
交文 流化 朔太郎	交文 流化 秀登 山桃子	く色 山づ 東海 枝々木柚花	く色 山づ 霞 池田直々奈	く色 山づ 彩海 竹内詩花	く色 山づ 大部和元井翔大
交文 流化 翠大越心愛	交文 流化 長田望羽	く色 山づ 春月 齋藤ひかり	く色 山づ 大楠 池上采良	く色 山づ 成野 石原稜	く色 山づ 静香初赤羽真奈
交文 流化 岐古川恭啓	交文 流化 悠燈六 松本佳澄	く色 山づ 石川 紗愛	く色 山づ 丸田美織	く色 山づ 清和 安藤涉	く色 山づ 善初 佐々木結衣
交文 流化 月倫四藤本紉世	交文 流化 能見五 桑原芽依	く色 山づ 竹清 美玲	く色 山づ おん文都 田中千晴	く色 山づ 小池史啓	く色 山づ 翠風 初決砂サ蓮
交文 流化 遊心相浦陽莉	交文 流化 せい五 新井詩	く色 山づ 流川 里澤せら	く色 山づ 石神 河原翠翠	く色 山づ 花峰 大木卯華	く色 山づ ひわ 初 神谷花

岡山足 七期 來未 文 道 武	藩 成瀬 文 流 化	園 遠山日菜 文 流 化	花峰 初段 福田心春 文 流 化	Kの 塚本朱海 文 流 化	城下徠 夢 文 流 化
一色七 森田碧彩 文 道 武	三糸丸 山崎和 文 流 化	梨霞 武田萌愛 文 流 化	赤月 初吉田舞 文 流 化	坂部 二段 服部有莉 文 流 化	KAGI 古賀 是金 文 流 化
松苑 七段 阿部菜菜 文 道 武	愛海 森嶋友里 文 流 化	長次 結月 文 流 化	直平 山口淳 文 流 化	松本 二青木篤郎 文 流 化	香 有賀結希 文 流 化
本宮 二はね 文 道 武	有賀 豊田円 文 流 化	山根 刀根実土 文 流 化	阿 小島那登 文 流 化	若水 二石川凜子 文 流 化	中原 三段 鈴木穂花 文 流 化
彩華 六 丸岡詩絵 文 道 武	北神 田山陽向漢 文 流 化	七夕 不破健登 文 流 化	瑞 樹初段横山湖音 文 流 化	賢 小林凌大 文 流 化	鏡中 二星野寛奈 文 流 化
飛雲 六水口真緒 文 道 武	花虎 福島凜 文 流 化	工八 久保密桐 文 流 化	平來 初奥野千雪 文 流 化	大橋 二張志宇 文 流 化	品濃 二青藤光利 文 流 化

玉野子教室 石東 楓
文武
道武

曾水 山岸 大琉
文武
道武

志茂 三中山 桃樹
文武
道武

千南 加瀬 采美
文武
道武

香裕 塩崎 はるか
文武
道武

玉芳 石井 芽依
文武
道武

野木 渡邊 うらら
文武
道武

彌友 愛 莉
文武
道武

リン うちこ
文武
道武

柚本 四 作本 結香
文武
道武

五 諸星 瑠莉 花
文武
道武

セツ六 大塚 友 彩
文武
道武

筆え 熊谷 咲空 三級
文武
道武

楓 初矢 島白 葵
文武
道武

ゆぎ 東 小手川 真人
文武
道武

美番 三 鈴木 杏奈
文武
道武

四 渡邊 侑和
文武
道武

大山 五 海老原 恰安
文武
道武

文月 直
文武
道武

三奈 初 熊 金彩心
文武
道武

石橋 二 木林 未紗 来
文武
道武

光書 三級 宇野 友菜
文武
道武

祥 有岡 佳奈
文武
道武

佳心 五 山方 琴葉
文武
道武

学友 齋藤 わり
文武
道武

栄奈 初 宮崎 唯
文武
道武

花 安藤 初音
文武
道武

柏学 三 中村 栢葵
文武
道武

夕四 関口 桃子
文武
道武

四三 鈴木 恰
文武
道武

香泉 小島 夢乃
文武
道武

野口 坂本 彩華
文武
道武

永雲 結希 及二
文武
道武

能見 増野 優奈
文武
道武

四 藤元 杏奈
文武
道武

かのう 三級 内海 輝志
文武
道武

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

天恵・八・永野嵐丸

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

ゆめ・五・濱野藍莉

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

りん・三・道川怜

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

湘花・初・日比野碧波

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

久青・・・柳川桃璃

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

彩峰・・・竹内詩花

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

Kの・・・鈴木華

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく

冬山・六・巖巻木そら

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

西宮・七・松井さやか

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

詠雪・四・黒田知沙

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

そり・二・松井杏実

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

上も・初・保元南那果

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

ゆき東・・・高木優杏

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

清光・・・武岡礼

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

緑・・・下垣咲穂子

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく

藍・七・木村心香

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

香桜・六・宮田智成

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

津島・四・鈴木里織夏

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

紅織・二・犬竹晴人

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

一陽・初・上野らん

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

吉田・・・齋藤聖奈

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

桂書・・・富永結心

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

書倫・・・矢野日彩

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく

彩峰・六・長田望羽

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

ちよ・五・垣見尚

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

人吉・三・緒方佑真

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

△・初・伊東美愛

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

ニ学・・・呉地悠花

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

NY・・・天雲友華

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

風倫・・・山岸莉子

空を見ると 羊のような
雲がうかんできていた

ゆり・・・横林希莉花

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく

にい・五・瀬柚希

秋の七草は 奈良時代の
万葉集によまれている
高田 七 井上心菜 9

秋の七草は 奈良時代の
万葉集によまれている
川園 八 茂上愛翔 9

秋の七草は 奈良時代の
万葉集によまれている
風がふきぬけていく
風倫 藤村華子 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
枉 後藤 璿花 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
いろは 初 古堅梅乃 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
美杉 二 村上詩歩 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
永岳 三 池谷心花 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
玉橋 四 内野詠斗 9

秋の七草は 奈良時代の
万葉集によまれている
清月 六 中村悠真 9

秋の七草は 奈良時代の
万葉集によまれている
加茂 八 笹川愛菜 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
星友 山上陽士朗 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
福岡 植口あかり 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
坂部 初 坂田菜奈子 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
長山 二 前田 糸希奈 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
祥穂 三 菅原翔 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
能見 四 桑原 芽依 9

秋の七草は 奈良時代の
万葉集によまれている
紅心 六 緑川乃恵 9

秋の七草は 奈良時代の
万葉集によまれている
風 八 大隈朝子 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
愛海 森嶋友里 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
心 中山 颯介 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
FF 初 吉田 紗雪 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
桂書 二 伊東咲穂 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
秋田 三 佐藤美羽 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
Kの 四 塚本 朱海 9

秋の七草は 奈良時代の
万葉集によまれている
栄友 六 小谷由梨乃 9

秋の七草は 奈良時代の
万葉集によまれている
Kの 七 近藤琉花 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
濱 中村 美玲 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
桜塚 永井 綾久 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
有杉 初 中 野 莉穂 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
ゆめ 二 望月 野々香 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
岡山 三 坂口葵衣 9

黄金色のイチョウ並木を
風がふきぬけていく
芳書 四 三浦里沙 9

向上心
富岡 智 拓

山田 須賀 楓
向上心

白鳥 石黒 莉乃
向上心

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
かぜ 村山陽菜

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
悠 昇悠希

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
愛海 相馬夕佳

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
永岳 高橋結希乃

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
文月 森田美羽

向上心
大和

初板倉 夏美
向上心

夕六 井上 愛彩
向上心

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
京生 坂本結都

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
府六 川田麗奈

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
天衣 大川恵愛

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
品濃 稲田咲季

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
法水 内藤 結夏

向上心
小嶋ゆず

りん 渡邊 薫
向上心

有馬 五齊 藤 諒
向上心

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
祥 貝原志穂

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
桂書 曾我優月

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
名西 初 杉原 亜美

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
高洲 武田陽依

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
小郡 木下 智左杜

向上心
阿部 結 璃奈

松原 須藤 晴都
向上心

清雲 四段 六崎 晚翔
向上心

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
モウ 佐藤 茜

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
和同 竹内 彩乃

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
五井 初 岡田 怜奈

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
流山 木佐 貫花衣

秋の七草は奈良時代の
万葉集によまれている
清光 山田 結夢

じょう 幅 6 年 生
条 幅

岡山
二
岡田 咲喜
生命感

三
西田 花菜
生命感

自
八
小林 花和
生命感

三
市来 真奈
生命感

文
三
小野 朋花
生命感

西宮
七
濱田 夏芽
生命感

双
五
南 星也
生命感

H
A
二
赤水佳那
生命感

神子
六
岡本 光央
生命感

広
布 広 瀬 湊
生命感

香
二
高島 由衣
生命感

三
五
藤井 玲 那
生命感

じょう 幅 5 年 生
条 幅

松原
小
山田 美 結
集中力

二
長瀬 清志郎
集中力

七
尾澤 沙 映
集中力

美
徳
本家 沙羅
集中力

五
初
宮 崎 紫
集中力

神子
六
高垣 紗 矢
集中力

玉
椿
詠 斗
集中力

松
平
林 知 樹
集中力

八
五
中山 莉 緒
集中力

三
三
齋 藤 美 和
集中力

自
松 井 玲
集中力

七
三
古 川 恭 啓
集中力